「関係人口」プロジェクト

産官学連携による「きみの地域づくり学校」の設立

プロジェクトメンバー

○阪井 加寿子（食農総合研究教育センター）
藤田 武弘（追手門学院大学教授、食農総合研究教育センター客員教授）
増山 雄大（食農総合研究教育センター）

○はプロジェクト代表

共創相手

和歌山県紀美野町

プロジェクトの背景

農村の過疎化、高齢化が進んでいるが、最近では「田園回帰」と呼ばれる若い世代の地方への移住が増え、また移住はしなくても地域に関わって応援する「関係人口」が注目されている。「地域おこし協力隊」は生活の拠点を都市部から過疎地域などに移して地域協力活動を行う国の制度であるが、隊員数は年々増加し2022年には全国で6,000人を超えている。参加者は若い世代が多く、任期終了後には65％が同じ地域に定住しており、地域づくりにおいて求められる関係人口となっている。当食農センターでは、このような地域おこし協力隊に対し、昨年度7月と2月に現役の隊員や卒業した隊員を対象にネットワークセミナーを開催し、隊員相互の情報交換や任期を終えた先輩との交流を促し、和歌山県内に増えつつある地域おこし協力隊の活動を支援してきた。

また、和歌山県紀美野町では住民による内発的な「まちづくり」の取り組みが行われており、過疎集落再生や棚田の再生、地域産品開発、民泊受入、移住支援などさまざまな住民活動を町行政や地域おこし協力隊が現場でサポートしてきた。

和歌山大学は2016年に紀美野町と地域連携推進の包括協定を結び、食農センターの教員も当町で調査研究を行ってきた。

このような状況のもと、これまでの域学連携の一環で、地域づくり学校の設立に向けたプロジェクトが始まった。

プロジェクトの目的

食農センターでは、関係人口プロジェクトを社会実装事業として位置づけ、紀美野町と連携して次の3つの目的を持つ「きみの地域づくり学校」の設立を目指した。

(1) 還流人口（Uターン者）の創出

農村では、進学などを機に都市部へ出た若者の多くがふるさとに戻らず都市部で就職し、地域の過疎化に拍車をかけている。若者に農村で暮らすことの豊かさや意義を伝え、将来の環流人口（Uターン者）に繋げていく。

(2) 地域おこし協力隊の定住支援

地域おこし協力隊の定住後の仕事をみると、約4割が起業し、約1割が農林業に就業している。紀美野町では2006年から行政と住民が協働で移住支援に取り組み、町内には移住者の起業により飲食店や農家民泊などがオープンして交流の拠点が生まれ、6次産業化に取り組む農林業者など特徴ある事業者が増えている。若者が農村に定住するには仕事の安定が必要である。県内の地域おこし協力隊や移住希望者に、大学教員や起業した地元の先輩事業者等の座学による講座や実践から農村で起業する意義や事例を学んでもらう。

(3) 行政職員のリスキリング

農村の産業及び事業者に触れる機会や多世代の交流による学びの場を提供することにより、地域支援活動を行う行政職員のリスキリングに資する。

プロジェクトの活動内容

紀美野町まちづくり課、食農センター、地元の有志により兵庫県丹波篠山市のイノベーターズスクールなどの先行事例を参考に検討を進め、「農村の価値を若者に伝え、活力のある地域を創出していく」という学校設立趣旨に賛同した発起人（地元の公立・私立高校、地元自治会、商工業、観光業、農林業等の団体や企業、有識者）により、きみの地域づくり学校運営協議会（会長：山上範子りら創造芸術高等学校校長）が設立され、2023年春、「きみの地域づくり学校」が開校することになった。この協議会の事務局は紀美野町まちづくり課に置き、事務は地域おこし協力隊となる和歌山大学の卒業生が担っている。

設立に際し、当センターと紀美野町によりミニシンポジウム「農山村における関係人口・還流人口の創出を考える」を開催し、牧野光朗氏（前長野県飯田市長）から「円卓の地域主義―これからの地域づくりに必要な「連携力」とは―」について基調講演をいただき、「きみの地域づくり学校への期待」についてトークセッションを行った。

キックオフ・ミニシンポジウム

プロジェクトの成果

このように産官学連携して開校する「きみの地域づくり学校」は、なりわい創業を学ぶ視点から全15講の講義（5月～10月）とメンターとして応援する先輩事業者の現場でのインターンシップ（10月～12月）により構成され、次の内容を学ぶプログラムになっている。

①大学教員等による学術的、専門的な面から農村の価値を学ぶ

②地域内、地域外の先輩事業者などから農村における起業・継業を学ぶ

きみの地域づくり学校を通じて、地域内外からの参加者に「多世代の交流」、「学びの場」を提供し、農村の価値を伝えていく。

2023年きみの地域づくり学校プログラム

プロジェクトに関するお問い合わせ
食農総合研究教育センター
E-mail : syokuno@ml.wakayama-u.ac.jp
URL : https://www.wakayama-u.ac.jp/food-agri/